


折り畳み椅子の系譜

折り畳み椅子は
置いた時のシルエット
が命だ#...

「折り畳み椅子」
が、アウレンティ
アノビル(64)モ!!


= ヴァンカロ・セラッティ =
= 川土 元美 =

座・背が透明なから
軽さを強調




1971

φ25
mm




うすうす


1970



700+



700+



700+

「ヴァンカロ・セラッティ」

カスティ社インハウステイター
ポストモダンの時代の流れの中で
その時代感覚からは距離を置く

「モダン一直線と男」 セラッティ談
「インハウスの神話に育てられた」
「デザインはファッションでは無い
使ってみて機能がわかるものが
デザインの使命」である」
デザイン = 機能

- ・ 機能的
- ・ 安価
- ・ 省スペース
- ・ 大量生産性


MOMA
コレクションに
累計700万脚
以上

※ ヴァンカロの
椅子の元祖
※ 「カール・ラッティ」
4エターの
最高傑作!


アノビルが師範



後には
エミリオ・アンバースと
共作で
オスカー・ティエリ
のデザインを代表
座がアノビルの



「アノビル」
また
「BLITZ」
電撃



川土元美に
聞いてみる

「アノビル」
BLITZ
1977
ALADINO
一等
1981-94
スキッパー
↓
チューン
TUNE
1995.
「アノビル」
IXC

「川土元美」

東京芸大修了後 (66-69)
アノビル・マン・カロ・セラッティ事務所

「カール・ラッティの良心」
寺島談

「デザインとは根拠の草の如くに
時代と共に浮遊するもので
無く、個に準じて、個を越えて
ある普遍に至るべきだ。その
個が貫かれているものと解釈している」
元美談

みんなの椅子 / アノビルのデザイン VII